

所属・氏名（ 保健医療学部 救急救命学科 氏名：坂口 英児 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(学会発表) 病院搬送時間に1時間以上を 要する地域で 30 分以上心肺 停止であった傷病者が社会復 帰した事例	共著	2015 年 6 月	第 18 回日本臨床救 急医学会抄録集	山間部地域で 30 分以上心肺停止であった傷病 者の社会復帰事例での、ドクターカーの有効性 を報告したもの。 (抄録集 364 頁)
2	(学会発表) 外傷傷病者に対する修正下 顎挙上法の検討	共著	2019 年 5 月	第 35 回の本救急医 学会中国四国地方 会抄録集	確実な下顎挙上法について検討を行っているも の。 (総ページ数:1 頁) (著書全体の著者名田中亮丞、友安陽子、 <u>坂口 英児</u> 、吉川孝次、山本弘二、安田康晴) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能 (抄録集 33 頁)
3	(学術論文) ストレッチャー曳航中の事故 対策についての検討	共著	2018 年 8 月	プレホスピタルケア	ストレッチャーの高さに着目し、傷病者搬送時の 事故対策についての検討したもの。 (総ページ数:4 頁) (該当論文の著者名:安田康晴、二宮伸治、山 本弘二、岸誠司、諫山憲司、友安陽子、 <u>坂口英 児</u>) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
4	(学術論文) 救急車サイレン音は自動車運 転者に聞こえているか？ ー自動車運転時の車内騒音 量とサイレン音量との比較ー	共著	2019 年 1 月	日本臨床救急医学 会雑誌	自動車運転者に救急車サイレン音が聴こえてい るかについて検討したもの。 (総ページ数:4 頁) (該当論文の著者名:安田康晴、山本弘二、岸 誠司、友安陽子、 <u>坂口英児</u> 、藤原ウエイ翔) 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
5	(学術論文) 救急自動車中型化の必要性 に関する検討	単著	2020 年 3 月	医療工学雑誌	救急車自体の大きさや走行性、患者室、車内 での救急処置の可否について検討し、課題抽出を 行っているもの。
6	(学術論文) 救急自動車の緊急走行中 における交通事故の傾向と対策	共著	2020 年 12 月	日本臨床救急医学 会雑誌	救急自動車の交通事故形態とその対策につい て検討したもの。 (総ページ数:8 頁) (著書全体の著者名山本弘二、安田康晴、友安 陽子、 <u>坂口英児</u> 、宮崎龍二)
7	(学術論文) 外傷傷病者に対する修正下 顎挙上法の検討	共著	2021 年 2 月	日本臨床救急医学 会雑誌	修正下顎挙上法について母指法と示指法につ いて検討したもの (総ページ数:5 頁) (著書全体の著者名吉川孝次、安田康晴、二宮 伸治、山本弘二、友安陽子、 <u>坂口英児</u>) 担当部分の概要: 共同研究につき本人担当部分抽出不可能